

令和 2 年度

# 決 算 報 告 書

第17期事業年度

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

国立大学法人香川大学

令和2年度 決算報告書

国立大学法人香川大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,194	10,567	372	(注1)
うち補正予算による追加	-	8	8	
施設整備費補助金	907	1,041	134	(注2)
うち補正予算による追加	-	106	106	
補助金等収入	81	2,543	2,462	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	38	38	-	
自己収入	24,711	23,152	△ 1,559	
授業料、入学料及び検定料収入	3,858	3,587	△ 271	(注4)
附属病院収入	20,516	19,224	△ 1,292	(注5)
雑収入	337	341	3	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,654	1,505	△ 149	(注7)
引当金取崩額	242	232	△ 10	(注8)
長期借入金収入	97	97	-	
目的積立金取崩額	34	-	△ 34	(注9)
計	37,958	39,174	1,216	
支出				
業務費	34,288	33,047	△ 1,241	
教育研究経費	13,703	13,577	△ 126	(注10)
うち補正予算にかかる授業料免除事業	-	1	1	
診療経費	20,586	19,471	△ 1,115	(注11)
施設整備費	1,042	1,176	134	(注12)
うち(番町他)基幹・環境整備(衛生対策)等事業	-	106	106	
補助金等	81	2,283	2,203	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,654	1,422	△ 232	(注14)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	893	429	△ 464	(注15)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	37,958	38,358	400	
収入-支出	-	816	816	

※上記の金額は、すべて百万円未満四捨五入で表示している。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった国の追加予算における国立大学法人の行う退職手当等事業に伴う特別運営費交付金が交付されたこと等により、予算金額に比して決算金額が372百万円多額となっている。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった国の補正予算等が交付されたことにより、予算金額に比して決算金額が134百万円多額となっている。
- (注3) 補助金等収入については、新型コロナウイルス感染症対策関連の補助金獲得額の増加により、予算金額に比して決算金額が2,462百万円多額となっている。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が254百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用している。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料等減免の新制度導入等により、予算金額に比して決算金額が271百万円少額となっている。
- (注5) 附属病院収入については、入院患者数の減少等に伴う収入減により、予算金額に比して決算金額が1,292百万円少額となっている。
- (注6) 雑収入については、貸付料収入の増等により、予算金額に比して決算金額が3百万円多額となっている。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、民間等からの受託研究等の受入額の減少により、予算金額に比して決算金額が149百万円少額となっている。
- (注8) 引当金取崩額については、対象額の減少等により、予算金額に比して決算金額が10百万円少額となっている。
- (注9) 目的積立金取崩額については、事業計画の変更等により予算金額に比して決算金額が34百万円少額となっている。
- (注10) 経費の節減等に努めたため、予算金額に比して決算金額が1,241百万円少額となっている。
- (注11) 入院患者数等の減少等により、予算金額に比して決算金額が1,115百万円少額となっている。
- (注12) 注2に示した理由により、予算金額に比して決算金額が134百万円多額となっている。
- (注13) 注3に示した理由により、予算金額に比して決算金額が2,203百万円多額となっている。
- (注14) 産学連携等研究経費の受入額の減少に伴う支出額の減少等により、予算金額に比して決算金額が232百万円少額となっている。
- (注15) 長期借入金償還金については、償還の半年間猶予により、予算金額に比して決算金額が464百万円少額となっている。